



美里町
議会だより

きらり

第24号

令和7年2月1日

第24号メニュー
12月定例会 …P2～P3
委員会活動 …P4～P5
一般質問7名が問う…P7～P13
議会視察報告 …P15

（最終ページにて）
美里町の印象を伺いたい
ちにいへその方と
ています。その方と
町に住みながら、
まです。取組まし
組んで。外から美
継承したい。若者
美里町の伝統、工
成事業の一環とし
現在、熊本の県育

小さくても キラリと光る 私たちのまち

令和6年12月定例会

定例会は12月9日（月）から13日（金）までの5日間の会期で開催された。

今回提案された町長提出の案件は、条例関係7件、補正関係4件、専決1件、契約1件
その他10件の計23件であった。審議の上、全議案可決した。

一般質問には、7名の議員が登壇し活発な議論が交わされた。

議決事項

議案番号	件 名	議決結果
議案第73号	専決処分事項（令和6年度美里町一般会計補正予算（第8号））の報告及び承認を求めること	原案可決 （全会一致）
議案第74号	美里町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定	原案可決 （全会一致）
議案第75号	美里町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 （全会一致）
議案第76号	美里町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 （全会一致）
議案第77号	フォレストアドベンチャー・美里設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 （全会一致）
議案第78号	美里町企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 （全会一致）
議案第79号～ 議案第82号	令和6年度美里町一般会計及び特別会計補正予算	原案可決 （全会一致）
議案第83号	フォレストアドベンチャー・美里の指定管理者の指定	原案可決 （全会一致）
議案第84号	美里町ガーデンプレイス・家族村の指定管理者の指定	原案可決 （全会一致）
議案第85号	美里町緑川ダム休憩所の指定管理者の指定	原案可決 （全会一致）
議案第86号	美里町東部地区活性化施設の指定管理者の指定	原案可決 （全会一致）
議案第87号	町道路線（一寸榎線）の認定	原案可決 （全会一致）
議案第88号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更	原案可決 （全会一致）
同意第2号	美里町教育委員会委員の任命につき同意を求めること	原案同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	適 任
発議第3号	美里町議会会議規則の一部を改正する規則の制定	原案可決 （全会一致）
発議第4号	美里町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 （全会一致）
発議第5号	全国的な教員不足解消に向けた取組の更なる推進並びに少人数学級によるきめ細かな指導体制の計画的な整備に関する意見書の提出	原案決定
議案第89号	美里町長等の給料、諸手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決 （全会一致）
議案第90号	美里町立砥用小学校用スクールバス（小型）売買契約の締結	原案可決 （全会一致）

令和6年度一般会計補正予算

○一般会計補正予算（第8号） 令和6年10月9日専決

歳入歳出それぞれ1,330万円を追加し、総額80億3,203万円とする。

主な内容は、衆議院議員選挙費用として **1,037万円** 財源は国庫支出金

○一般会計補正予算（第9号） 令和6年12月9日提出

歳入歳出それぞれ1億4,729万円を追加し、総額81億7,933万円とする。

主な内容は・ふるさと応援寄附金返礼品等 **2,135万円** 財源は一般財源

・ふるさと応援寄附金積立金 **4,000万円** 財源はふるさと応援寄附金



返礼品 ふるさと氏の鬼のフィギュア

※10月末までの実績において、去年同期比6.1%増のため見込み額を修正するもの。

（ただし、昨年9月分は制度改正による駆け込み需要なので集計から除く。）

当初予算 6,000万円

・障害福祉サービス費等給付費 **2,110万円** 国1/2・県1/4補助



※居宅介護・短期入所・施設入所支援の各サービスにおいて延べ利用者数の増加が見込まれ、障害福祉サービス等給付費の必要額を確保する為。

当初予算 3億7,000万円

・放課後児童健全育成事業委託料 **1,195万円** 国1/3・県1/3補助



はちす児童クラブ

※保護者が労働等により昼間家にいない児童の保育及び健全育成を図ることを目的とした施設（堅志田学童クラブ、はちす児童クラブ）の基準額の変更及び事業拡充による増額。

当初予算 1,238万円

・施設型給付費等負担金 **1,340万円** 国1/2・県1/4負担



堅志田保育園

※保育所・認定こども園での年度途中の入所者の増加及び人事院勧告による公定価格の変更に伴う増額。

（美里町の町民は0～2歳も保育料が無償化されている為全額町が負担している。）

当初予算 2億9,937万円

・介護基盤緊急整備特別対策事業補助金 **△5,687万円** 財源は県支出金

※主なものは、介護施設等の大規模改修の際に合わせて行う予定であった介護ロボットの導入が不採択となった為。9月補正（第7号）で計上されていた。

9月補正後の予算6,020万円



お試し住宅（リビング）



お試し住宅（外観）

【お試し住宅改修工事】
堅志田区に整備されていたお試し住宅が完成。二階建てから耐震構造の関係で平屋づくりとなった。快適に過ごせる住宅に生まれ変わり、来られる方にも満足出来る環境が整っている。宅地面積が広く、夏場の草刈りなど維持管理をどの様にするか検討されている。



直下には住宅やケーブルがある



西分館への坂道

【中央公民館西分館】
西分館への上り坂（元登校坂）左側の樹木等で、民家や町道、電線、ケーブル等への支障木を伐採する。支障木の直下に住宅があり、樹木の高さもあることからクレーン作業車での伐採となる。



北側法面工事について説明



北側法面工事

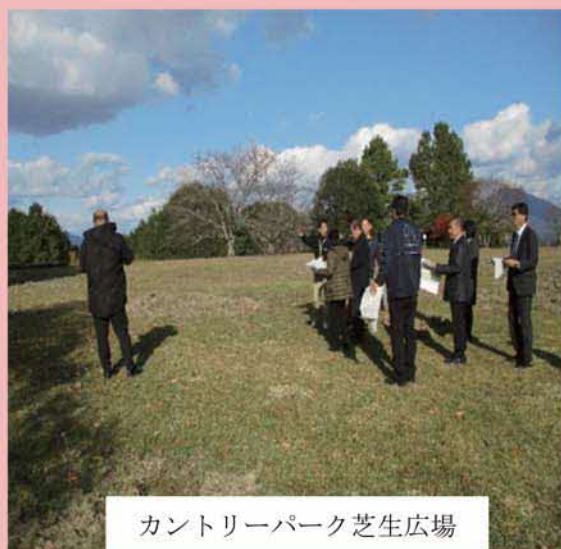
【農山村広場グラウンド】
坂貫地区の農山村広場グラウンド北側法面が崩壊している。勾配もきつくグラウンド等からの雨水が浸透するなど4箇所が崩壊した。併せて湧水する箇所もあり湧水対策工事を含む復旧作業が行われている。



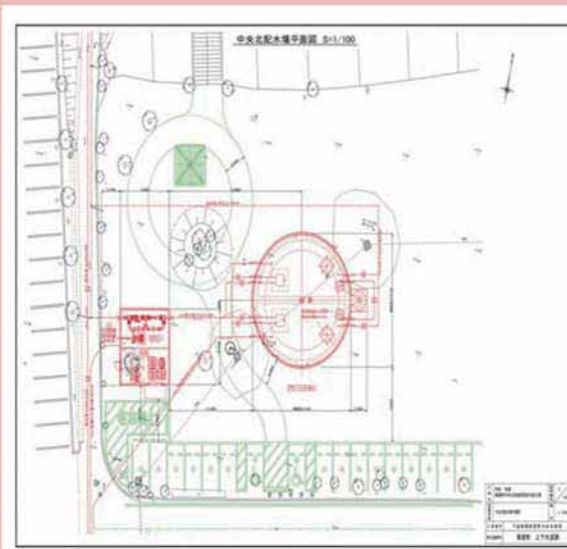
中郡現地視察



【農道第3町道線側溝布設工事現場】
【農道第2一寸堰線流末側溝修繕工事現場】
農道2路線の側溝布設並びに、流末側溝の修繕を行う。



カントリーパーク芝生広場



【中央北配水場予定地】（カントリーパーク芝生広場）
中央北地区簡易水道事業の配水場予定地（令和7年度工事予定）駐車場の整備工事も併せて行う。



議場は美里町役場中央庁舎2階にあります。
事前予約は不要ですので、当日に受付で住所、氏名等を記入して入場していただきます。
また、傍聴されるときは、議場内の発言に対して声を出したり、拍手、写真撮影、録音等を行うことは禁止されており、録音等を行うことは禁止されています。
解をお願いいたします。

議会を傍聴しませんか

令和7年第1回定例会は3月開会予定

条例

- 美里町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の等の一部を改正する条例の制定
- 美里町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 美里町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定
- フォレストアドベンチャー・美里設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 美里町企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定
- 美里町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定
- 美里町長等の給料、諸手当及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

人事

- 町教育委員会委員の任命につき同意した。
佐々木 聡（津留）〔再任〕
- 人権擁護委員候補者の推薦に対し議会に意見を求められ適任と認めた。
下田 一浩（洞岳）〔新任〕

令和6年度 定例監査報告

美里町監査委員 大西 茂
美里町監査委員 高田 美千子

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、10月15日～11月18日において13日間の日程で定例監査を実施した。その結果については同条第9項及び第10項の規定により、11月27日（水）午後4時から、町長室において定例監査結果報告書に意見を添えて町長に提出した。

- 定例監査を実施するにあたっては、各課等から事前に提出された監査資料に基づき、事業内容及び事業推進上の課題等について聴取し、次の点に主眼を置いて行った。
- ①町の財務に関する事務が関係法令等に準拠し適正か。
 - ②町の運営に係る事業の管理が合理的かつ効率的か。
 - ③財産の管理は適正に行われているか。
 - ④町の事務事業の執行に係る工事について、当該工事の設計、施工状況等が適正か。

〔監査報告書の抜粋〕

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、経済活動や住民生活もコロナ禍前に戻りつつある現在、合併20周年を節目として今

後さらに住民の期待に応えられるよう、健全な行政運営になお一層努力されることを望んで結語とする。



遊休施設の現地視察（小筵清流の里跡地）

全員協議会

令和6年 第10回 10月10日（木）

- 令和7年度機構改革（案）について
・美しい里創生課に、宅地開発室（仮称）を設置する。宅地開発の計画・選定・造成等を担う。

令和6年 第11回 11月22日（金）

- 令和7年度機構改革（案）について
・自治体DXの推進による「公金ステーション」の導入により、窓口での収納件数が減少した事で、砥用庁舎の会計室係を廃止し、窓口収納業務を住民生活課砥用庁舎総合窓口係へ移管する。

令和6年 第12回 12月9日（月）

- 令和6年度 宇土市・宇城市・美里町 台南市合同訪問
令和7年3月12日～14日
台湾 台南市・台北市
台南市と宇城地域（宇土市・宇城市・美里町）との友好交流に係る協定書の締結式並びに湯徳章氏の記念日参拝

宇城広域連合議会定例会

令和6年 10月23日（水）

- 105,037千円を追加し、総額3,624,333千円とする24年度一般会計補正予算など7議案（決算認定2件、条例1件、予算2件、その他2件）を上程。全議案が可決された。

町政の **ここ** が知りたい

12月
定例会

一 般 質 問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。今回は7人の議員が登壇し町政について問いました。一般質問の全編動画はQRコードより見ることができます。

4期目への新たな構想は？

町 長 人口減対策に全力集中！



たかた みちこ
高田美千子議員



QRコード

○教育問題

(問) ICT教育の環境整備には、多くの予算を要しており、今後も機器の更新には多額の予算が見込まれる。町は今後、ICT教育をどう進めていくのか。

(宮崎教育長) 令和元年から5年度までにICT教育に要した整備費用は、約2億3千万円。今後も更に通信環境を整え、こどもたちの主体性を伸ばし複線的な学びとともに、学校間や学校内格差の解消、特色ある授業の取り組みを進めていく。

(問) 町内5校においては、小規模校の良さを発揮した充実した教育がなされているが、新たな4年間のスタートにあたり、学校統合問題の今後の構想は？

(宮崎教育長) 現在、統合に向けた具体的な構想はない。こども議会や中学生との意見交換会でも統合についての質問があった。「中学校の在り方に関するアンケート調査」の結果が今月中には提出予定であり、その結果を参考に、義務教育学校や小中一貫校の情報収集もしながら検討を進めていきたい。

(上田町長) 学校の統合・再編問題は非常にデリケートであり、児童生徒の意志・保護者の思いをしっかり把握して尊重していきたい。

○地域の活性化

(問) コロナ禍後の地域自治活動に衰退が見られている。今後も集落機能が維持され安心して暮らせる地域づくりについて町の構想は？

(上田町長) 地域コミュニティの希薄化により、防災や福祉活動など様々な面で支障が懸念される。これは全国の過疎地域に共通する課題であり特効薬はないと認識。産業の振興、子育て応援策の拡充、公共交通対策などに総力を挙げて取り組んでいく。

その他の質問

- ・これまでの教育事業の成果を、町はどうとらえているか。
- ・町内の児童生徒の減少にどう対処されるのか。
- ・地域住民が自ら企画するまちづくりプランのコンペは出来ないか。
- ・町内観光スポットの整備における、新たな構想はあるか。
- ・町内のすべての公共施設トイレの洋式化の構想は。
- ・山林の不法投棄物の除去方法はないか。

○環境の整備と保護

(問) 美しい環境を守るために美里町独自の取り組みとして、楽しいイベントとコラボした一斉美化活動の企画はできないか。

(宮崎住民生活課長) 現在町では、緑川の日と環境美化行動の日に美化活動を行っている。今後、取り組みの改善やこどもから大人まで参加しやすいイベントの内容を検討していく。



不法投棄されたゴミ

町長

A portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit, white shirt, and a blue and white striped tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

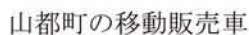
QRコード

(問) 6月以降の移動販売の取り組みと、アンケートの結果はどうだったのか。

た。將^ろもをる樂^ししで施来へ52合所で（谷口福社課長）
 来^今のも樂^し人て利^あ地ての名計²谷
 は^はのう^{しい}が^は用^つ区ほアと711カ
 必要^{自販}少^さ販^さたでし^な回月所、福
 要^{分売}し^がや^来れ。はいケ^つのに7月
 にな^でが^増あ^自か^てた^ーて実大
 買^でや^る分^にも方^来が^トい^施井
 と思^いき^しで^集ら^のて72で^るで早
 う^いの^し一^買こ^らや^ほ%^は。地
 等^けが^い方^いと助^ごい^あ用^用で
 が^残物^自か^意が^続れ^はカ
 あ^念品^を体^る見⁴³未^的た^合所²地
 っ^生数^すが^と%^実に^方計^のカ区

(問) これまでの取り組みを踏まえての課題をどうとらえているのか。

(谷口福祉課長) この移動販売の実態としては、事業者の方の自家用車に商品を積んで、サロン会場等で陳列する形になっている。この方法での取り組みを踏まえての課題としては、①購入したい商品の上位にあるものが、現状では提供できていない。②実施対象地区が多くなれば、地区にとって実施の頻度が少なくなる。③継続性を考えると事業者に一定の収益等が必要。以上大きく3つの課題があると認識している。



(問) 今後、「買い物弱者」対策についての考えはあるのか。

(上田町長) 12月に中央地区においても、弘川地区・坂本地区を皮切りにサロン等での移動販売が開始される。現段階では、買い物支援は勿論のことサロン等の活性化を含めた高齢者福祉の観点で実施し、同時に事業者の善意で行われている状況である。その結果として、販売場所が固定化されてしまうので、全体的な「買い物弱者」対策にはつながっていないのかもしれない。

国においては「交付金を倍増させ、人口減や社会的な基盤の維持など地方が抱える課題の解消を目指す」と

今後は、国の動向も注視しながら、また現在検討中の公共交通の活用も含め、持続可能で総合的な買い物弱者対策を検討していく。



○特別支援学校への通学支援

- ・本町からの通学者の現状は。
- ・福祉有償バスの利用者への支援は。

○学校給食

- ・学校給食費の公会計化の実施は。
- ・給食調理員の将来の配置計画は。
- ・給食センターではなくても、現在の給食室を集約して効率化できないか。



くまべ ひろし
隈部 寛議員

（問）子育て支援住宅等の人口流出抑制策はどの程度考えられているか

（上田町長）人口減少を食い止めるための課題としていくことは待ったなしの課題だ。町では、中央北地区におなける宅地開発を進めると共に、町内全域のバランスある発展を目指して補助制度の新設等についても検討が必要と考えている。様々な要素を検討し、開発手法を決定していきたい。

（問）商業施設の活性化について検討されているのか。

（上田町長）活力ある地域の維持のため、商業施設の活性化は重要な課題である。移動販売車については、利用者からは大変喜ばれているが、まだ課題も多かった。今後さらに利便性を向上させていく。加えて、地域の公共交通のあり方の見直しを進めており、利用者の気持ち直しを進め、えながら来年度までに再編案をまとめることとしている。

○狭あい道路の整備

（問）狭あい道路整備関係事業は現在も利用しているのか。

（富永建設課長）国土交通省の基幹事業として、「狭あい道路整備促進事業」がある。美里町においては平成26年度から平成30年度においてこの制度を用いて道路整備を行ったが、それが降は事業に取り組んでいないのが現状。

（問）住民の安全と町のインフラ整備の重要性について、どのように考えているか。

○美里町未来創生策

(問) 子育て支援住宅等の人口流出制御策はどの程度考えられているか

(上田町長) 人口減少を食い止める活力を維持していくことは待ったなしの課題。町では、中央北地区における宅地開発を進めると共に、町内全域のバランスある発展を目指して補助制度の新設等についても検討が必要と考えている。様々な要素を検討し開発手法を決定していきたい。

(問) 商業施設の活性化について検討されているのか。

○狭あい道路の整備

た（上田町長）
 題で、商業施設、活
 利、用者、移動販
 だ、課、者、多、い、大、変、今、後、さ、ら、に、い、い、地、利、便、の、性、ま
 を、向、上、さ、せ、い、く、加、え、し、て、進、め、考、
 公、共、交、通、の、方、の、見、直、し、を、進、め、考、
 お、り、利、用、者、の、気、持、ち、を、再、編、案、を、ま、と
 え、な、が、ら、来、年、度、ま、で、に、再、編、案、を、ま、と
 め、る、こ、と、と、し、て、い、る。

(問) 狭あい道路整備関係事業は現在も利用しているのか。

（富永建設課長）国土交通省の基幹事業として、「狭あい道路整備促進事業」がある。美里町においては平成26年度から平成30年度においてこの制度を用いて道路整備を行ったが、それが以降は事業に取り組んでいないのが現状。

（問）住民の安全と町のインフラ整備の重要性について、どのように考えているか。

（上田町長）住民の安心安全のために、道路などのインフラ整備は行政の重要な



狭あい道路（上土喰）

役割である。町内の、緊急車両が進入できない狭い道路については、国の補助金を活用するもの、町単独事業として行うもの、町が集落に補助するもの等に分けて、優先順位をつけて検討している。計画的に整備を進め、住民の安心安全の確保に務めたい。

（問）緊急時の対応力についてどのように強化していくのか。

（坂村総務課長）住宅密集地域等の狭あい道路隣接住宅において、火災発生時に延焼リスクが高くなるため防火水槽の整備に加え、現在行つて

いる水道事業の沿線において消火栓の整備も行っていく。住民の避難体制整備においては、現在町内全域を巡回している「マイタイムライン説明会」の利用を推進している。

○ふるさと納税のアイデアと応援大使の活用策

(問) ふるさと応援大使の活用策や、応援を強化する案はあるのか。

（坂村総務課長）現在、応援大使の活用策として、タレントの「緒方由美さん」には町のイベントでの「美さん」に「お願ひ」している。又、画家の「瀧下和之さん」には「協力していただく」と納税に協力していただく。本年度は「応援大使」に協力している。本年度は「美里町のSNR動画製作」している。今後、SNSやホームページ等を活用し、情報発信を強化していく。

(問) ふるさと納税のアイデアと応援大使の活用について。

(澤山美しい里創生課長) ふるさと納税「鬼のフィギュア」をふるさと納税返礼品として提供していただくようお願いしております。ファンの層から一定の支持を得ており、プレゼントとして提供している。パッケジへの採用やバツ等に関する面を考慮しながら、スムーズに作業が完了し、納品されることを願っています。

美里町長としての4年間の抱負は



はま だ けん じ
濱田憲治議員



QRコード

町長

『静から動へ』

・宅地開発と定住支援等へまい進する

○4期目町長の抱負

〔問〕新しく始まる4年間の抱負は。

〔上田町長〕このままのペースで人口減少が進めば、税収減による行政サービスの水準の低下、地域コミュニティの更なる機能低下が予測される。

美里町において宅地としての問合せが最も多い地域である中央北地区にしっかりと投資をし人口減少のスピードを緩やかにしていきたい。

他の地域を見捨てることなど絶対にならない。定住を促す地域。交流人口を増やすことから始め、最終的には移住を促す地域。関係人口の創出で、賑わいを作り出す地域など私たちのこともや孫にこの町を引き継いでいけるように頑張りたいと思う。併せて、人口減少を論じる際に忘れていけないのは国のやる気だ。国家は国民がいてはじめて成り立つ。国として真剣に人口を増やす手立てを講じて頂くよう具体的な対策を国に求めていく。

○若い世代への住環境整備及び支援策

〔問〕子育て支援住宅の整備を進める事が必要だと思つがどの様に考えているのか。

〔上田町長〕4期目のスローガン『静から動へ』の中核となる政策で、宅地の開発は最重要課題である。現在担当課において、複数の

開発業者やハウスメーカー等からの聞き取り、コストの算出、開発手法ごとのリスクの比較等を進めている。来年度には開発に向けた基本構想が策定できるのではないかな。

『子育て支援住宅ヴェルデ甲佐』



家賃	1. 新婚世帯で夫婦のいずれもが40歳未満の世帯または妊婦がいる世帯	52,000円
	2. 子育て世帯で18歳未満の子が1人のとき	47,000円
	3. 子育て世帯で18歳未満の子が2人のとき	44,000円
	4. 子育て世帯で18歳未満の子が3人以上	42,000円

『定住促進助成金等の支援策』

宇城市	○子育て世帯定住促進事業補助金 新築・建売住宅を購入の場合：1戸当たり50万円 (事前申請時、同世帯に小学校入学前の世帯員がいる場合等)
宇土市	○住宅取得支援事業 市西部地区に新築・住宅購入に限り100万円を上限に補助
甲佐町	○定住促進助成金 定住促進助成金として最大100万円を支給

〔問〕若い世代を呼び込むために「定住促進助成金」等の支援策が必要ではないか。

〔上田町長〕人口減少を食い止めるために限られた財源をどう配分し、選ばれる町をどう実現していくかが、4期目の最重要課題であり、総合的、多面的な取り組みを進めたい。



さか た たつよし
坂田 竜義 議員

○カスタマーハラスメント（カスハラ）への対応

(問) 3期12年(取分け3期目)の総括はどうなるか。

(上田町長) 派手ではないが、堅実な町政運営に努めてきた。特に生活道路の整備、子育て支援策などの施策を展開してきた。3期目は「甲佐町との包括連携協定」「子ども子育て政策」「DXの推進」「中央北地区での水道事業着手」「20周年記念事業」に尽力。特に「給食費半額補助」「保育料無料化」「出産・子育て応援給付金上乘せ」「こども家庭センターの開設」など取り組んだ。

(問) この先4年間の公約はどうなるか。

(上田町長) 「人口減少のスピードをいかに緩やかにするか」が最も注力すべきこと。「流入人口を増やし流出人口を減らすための宅地開発」「中央北地区の水道整備」「企業誘致」を重点に取り組みたい。

(問) ローカルマニフェストについては示さないのか。

(上田町長) 示さないようしている。理由は災害等が発生した場合などそれを優先せざるを得ないし財政力が弱い自治体では国次第で公約達成が困難になるから。

※4期目になると多選の弊害がでる。意思決定の独善化」「イエスマンが多くなり側近政治の横行」「職員が士気低下」「議会との緊張感欠如」「業者との癒着」等ないよう求めた。

○町政3期12年（取り分け3期目）の総括と4期目の公約

(問) この大綱を本町としてどう捉え、どう対応するのか。

(谷口福祉課長) 増加する高齢者を支える取り組みだけでなく、高齢者の割合がより多くなつていくことを前提に全世代にとって持続可能な社会を築いていくための取り組み。町としてはこれを全庁的に共有し各課の施策に活かしていく必要がある。

○高齢社会対策大綱

(問) カスハラをいかなる問題としてとらえるのか。

(吉住副町長) カスハラは顧客等から受ける嫌がらせや過度なクレームなど著しい迷惑行為とされ、従業員や職員の尊厳を傷つけ、健康不良や精神疾患を招き職場全体の生産性にも影響を及ぼすなど大きな問題である。

(問) 本町において実態はどうなっているか。

(吉住副町長) 主に窓口を預かる部署において面談中の暴言、電話による長時間拘束、ネット上で悪評を流すとの脅迫と受け取れる行為等があったと報告を受けている。

(宮寄教育長) 教育現場では、以前はあったが現在は発生していない。

(問) 今後カスハラ対策はどうして行くのか。

(吉住副町長) 本町では「不当要求行為の防止に関する条例」を制定し、職務の遂行を損なう恐れのある要求があったときはこれを拒否し上司に報告するよう定めている。今般東京みやぎ県でも指針を作ると報道されており、熊本市も条例化され、熊本市も指針を徹底し、さらに対応マニュアルの策定を検討し、職員を守るための対策を速やかに実施する。

（問）高齢者の認知症対策はどうして行くのか。

（谷口福祉課長）国の「認知症施策推進基本計画」を踏まえ認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける「共生」を目指し「認知症バリアフリー」の取り組みを進め「共生」の基盤の下、通いの場の拡大など「予防」の取り組みを進めていく。

（問）単身の高齢者対策（見守り）はどうして行くのか。

（谷口福祉課長）本町としては日常の民生委員児童委員による活動やシールバーヘルパーによる老人クラブ会員相互の訪問活動をはじめ地域包括支援センターの個別訪問、相談支援等の取り組みや緊急通報装置の設置事業を進める。



高齡社会対策大綱

宅地開発をどう進めていくか

町長

農地転用までの進め方を 県と協議を継続的にやっていく



よしずみ じゅんいち
吉住 淳一議員



QRコード

○移住定住と宅地開発について

(問) 農業振興地域制度の概要としくみは。

(西寺農業政策課長) 農用地区域を農地以外のもの宅地や駐車場にする場合は「農業振興地域の整備に関する法律」いわゆる農振法によって定められた要件をすべて満たす場合に限り、計画を変更し当該土地を農用地区域から除外することができ、これを農振除外と言う。

(問) 宅地開発を進める上での課題は。

(澤山美しい里創生課長) 農用地区域からの除外や農地の転用許可までの流れを県の関係部局と協議を継続的にやっていく。

(問) 移住定住促進に更なる取り組みは。

(澤山美しい里創生課長) 今年度移住相談会を東京・大阪で3回開催した。今後も計画しており美里町の豊かな自然や暮らしやすさについてPRを行うこととしている。

○小中学校の教職員の職場環境と部活動は

(問) 教職員の労働環境はどうか。

(宮寄教育長) 現在町内では65人の先生がいるが、4月から11月までの超過勤務者数は、月45時間以上が平均17・3人で、その内80時間以上が2・3人、内100時間以上が0・5人となっている。今後、是正に向けた取り組みを進めて行く。

(問) 中学校部活動の地域移行は。

(宮寄教育長) 今年度「中学校部活動地域移行検討委員会」を設置し、教職員に代わる指導者の確保や、今後の部活動の在り方等について更に協議を進め、令和8年度の地域移行に向けて「地域の子どもは地域で育てる」の理念のもと課題解決に取り組む。

○石川県能登豪雨から見る本町災害対策

(問) 仮設住宅の設置場所はあらかじめ検討されているのか。

(上田町長) 現在設置可能な場所として中央庁舎南側広場、砥用庁舎駐車場、B&G海洋センター周辺を候補地と考えている。

(問) 車中泊避難所と個別避難計画の作成は。

(坂村総務課長) 車中泊避難所は現在町内に3か所整備されている。現在4か所目を検討中である。

個別避難計画の作成については現状331人の方の作成が完了している。今後も取り組みを進めて行く。

(問) 道の駅佐俣の湯を防災の視点から整備が出来るのか。

(上田町長) 災害時の食料供給や入浴提供施設として地域防災計画に定めている。ただ施設の大部分が土砂災害警戒区域に指定されており防災拠点としての登録は難しいと考える。安全が確保できれば引き続き活用していきたい。



道の駅美里「佐俣の湯」

小学校の体験型交流事業はできないか？



むらさきこういち
村崎公一議員



QRコード

教育長

財政面を含め可能であれば積極的に取り組んでいきたい

○子育て環境

(問) 県内において、小中一貫校や義務教育学校が増えてきているが、今後、町内の小・中学校の再編は考えていないのか。
(宮崎教育長) 現時点での児童生徒並びに保護者の意向を把握するため、中学校の在り方に関するアンケート調査を実施している。その結果を参考にして検討を行いたい。小中一貫校や義務教育学校についても検討をしていきたい。

(問) 学校の再編については、どこから話が出てくれば検討のきっかけになりえるのか。
(宮崎教育長) 今度のアンケートを契機に進めていきたいと思っている。ただ、保護者等の提出があれば別だが、地域の理解も得ながら、じっくりと慎重に進めて行く必要がある。

(問) これまでに、小中学校を統合した場合のコスト面から検証をしたことがあるのか。
(宮崎教育長) 中学生との意見交換会の中で、同様の質問があり、概算で、小学校の年間予算が約1億8300万円、中学校が約7700万円、合計約2億6000万円となり、年間削減額は小学校が6300万円、中学校が約3100万円、合計9400万円の削減になる。

(問) 小学校において他地域との交流事業など体験型の事業はできないのか。
(宮崎教育長) 現在、小学生の他地域との交流事業は行っていない。今後、交流事業を通して、その地域に

○観光振興

住む人々との関わり合いで、自ら課題を発見し、普段の学習で培った知識を総合的かつ実践化して、課題を解決する力の育成にもつながるものと期待する。今後、財政面も含め、交流の在り方を検討し、可能な範囲内で積極的に取り組んでいきたい。

(問) 20周年事業として行われたランタンフェスタの評価は。
(上田町長) 当日は、町内外から5000人を超える来客があった。大盛況のうち開催することができた。SNS上での反響も大きく、たくさんさんのコメントが書き込まれた。懸念された交通渋滞もほとんど発生しなかった。交通渋滞もほとんど発生しなかった。来年以降の在り方を検討していきたい。

(問) ふるさと祭り、やまびこ祭り、ランタンフェスタなど次年度以降どの様に考えているか。
(坂村総務課長) 来年度以降の在り方について両祭りの実行委員会だけでなく、囃子会などの意見をお聞きし、来年度以降の祭りをどうするか、方向性を見出して行きたい。

(問) 地域間交流や民間連携の窓口となりえる観光協会がないが今後町として、その分野を行う構想はあるのか。
(上田町長) 地域間交流や民間連携の推進は、今後も進めていく必要がある。現在は窓口として、担当セクションが対応している。多様化する観光ニーズに対応していくためには、

行政から独立した自由度の高い組織が望ましい。その様な意味では、今後、「美里まちづくり公社」は、その母体になれるものと考えている。



ランタンフェスタ会場

国会陳情



金子恭之衆議院議員



馬場成志参議院議員



松村祥史参議院議員

県選出国會議員へ要望

令和6年9月25日、熊本県選出国會議員（金子恭之衆議院議員・松村祥史参議院議員・馬場成志参議院議員）の3名へ要望書を提出した。

内容は

- ①水道整備に対する国費補助制度
- ②中山間地域の基盤整備における費用対効果の算出見直し
- ③中山間地域等直接支払制度について
- ④国庫補助事業 農業用機械導入事業の要件緩和
- ⑤行旅病人及び行旅死亡人取扱法並びに墓地、埋葬等に関する法律に基づき、市区町村長が葬祭を行った場合の遺骨の取扱いの法整備等
- ⑥交付金制度の採択要件の緩和
- ⑦砂防堰堤及び急傾斜地対策等の事業促進
- ⑧国道443号の整備促進
- ⑨橋梁補修の事業促進

議会清掃活動

1時間半で軽トラック2台

美里町議会では、定期的に町内各所の清掃活動を行っている。これまでも、国道218号沿い、主要道路又は観光スポット周辺の清掃活動を行っている。11月18日（月）前回は、八角トンネル付近の山林の不法投棄のゴミを集めたところ、約1時間半で軽トラック2台分のゴミを収集した。空き缶、ペットボトル、ビニール袋、タイヤ、洗面台、冷蔵庫まで家庭から出たゴミ等が大量に投棄されていた。

八角トンネル付近の道路から捨てられたゴミ



不法投棄は、近年大きな問題となってきた。不法投棄が起きる場所は、新たなゴミを捨てやすくなる環境となってきた。また、町としても大きな課題となっている。また、観光地などは町外の方が訪れた際には、目につく場所になっており、清掃活動だけでは追いつかず、投棄されない対策が急がれる。



集まったゴミ

議会先進地研修 (千葉県多古町)



千葉県多古町
 千葉県の北東部・首都圏まで約70キロ
 成田空港に隣接
 面積 72.80km²
 人口 13,485人 (2024年6月1日現在)
 主な産業 農業

まちづくりの基本方針
 「世代を超えてみんなで暮らし続けたい多古町」
 3つの0政策
 「待機児童0」「こども園・小中学生の給食費0」「大学生までの医療費0」



すくすくテラスたこ
(子育て支援住宅)

「子育て支援策」

すくすくテラスたこ(子育て支援住宅)
 官民連携で、PFI手法を活用し、旧給食センター跡地に無償で民間事業者へ貸付、A棟・B棟各6戸ずつの計12戸を整備されている。

PFI手法・・・公共事業を実施するための手法の一つ
 民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。
 地方公共団体が発注者となり、公共事業を行うものである。

この住宅は、民間が公有地に建設し、それを多古町が借り上げ、転貸するシステムを取っており、将来町に帰属することではなく、民間のノウハウを活用し、町の事業として安心感を与え、将来、古くなった物件を町が引き取るリスクも回避している事業となっている。

入居条件として、

●町外から転入予定の方、町内に居住地を探している方

●子育て世帯で18才以下の子どもがいる世帯

●夫婦のみ世帯の場合は、共に40才未満等

尚、募集開始と同時に即満室となった。今回の実績をもとに、第2弾・第3弾の計画もあり、仮に、将来応募条件が外れていく世帯については、退去いただくが、新たな住宅を整備し多古町に住み続けていただくことを考えている。

この他にも、

・第1子・第2子に10万円の応援給付金、第3子以降は総額100万円相当の出産・入学等祝い金。

・移住・定住に対しても土地や住宅を取得して定住される方に対し、要件に応じ「住宅取得奨励金」(最大100万円)

・起業・就農支援においては、多古町で頑張りたい人をサポートする(最大250万円)等の事業に取り組まれている。

本町においても少子高齢化が進む中、取り組むべき課題は多くあると思っている。限られた予算の中で、宅地開発からすべてを行政が行うのではなく、民間の力を活用しつつ必要な施策を行っていくのも必要なことではないか。今後美里町に合った施策を考えていかなければならないと感じた視察研修であった。

美里の宝

を守っています



喜屋武翔太さん
沖縄県出身21才

伝統工芸に対する思いは

将来的には、師を超える技術
を身に付けて、お店を持ちた
いと思っています。素晴らし
い日本の伝統工芸を次世代へ
伝えていけるように15年間、
修行に取り組みがんばりたい
と思います。

美里町の印象は

都会には無い自然と横並びの
生活です。例えば夜は星が綺麗
だったり、時期によってはホテル
などが見られるなど自然好きに
は、たまらないところです。



野口勇哉さん
宮城県出身23才

伝統工芸に対する思いは

しっかりとした職人の技術を
身に付けていきながら、その
実質的な美しさだけではなく、
芸術的な美しさにも着目しな
がら、自分の作品として広め
ていきたいいなと思っています。
ります。

美里町の印象は

星がすぐ綺麗に見えるところ、
夏場には、たくさんさんの蛍
が見えるところが感動しまし
た。



水越こころさん
東京都出身24才

伝統工芸に対する思いは

隈部刃物製作所は、刀鍛冶の
流れを組む質実剛健な刃物屋
さんであり、百有余年にわた
り伝統を守り続けています。
その伝統を継承するにあたっ
て、生まれた土地は違えど、
美里の鍛冶屋さんとして立派
に成長したいと考えておりま
す。今日も美里の雄大な自然
に囲まれて、その恵みを享受
しながらのびのびと修行に励
んで参ります。

美里町の印象は

美しい湧水が、そこかしこに
あるところや、すぐ近くに素
敵な温泉施設があるところで
す。



お知らせ

◆次回定例会
3月です。
傍聴おいで下さい。

お問い合わせ

議会事務局
46-2111 (内線600)

編集後記

新年あけましておめでとうございます
(読まれているのは2月でしょうが)。
本年も「きらり」を通じて皆さまに議会
の情報をお届けできるように努めてまい
ります。12月の定例会では10名中7名が
一般質問を行いました。人数が多ければ
それで良いというものでもありませんが。
内容は本誌の他、動画でも見ていただ
くことができます。今後は、議会モニタ
ーも選任されます。意見交換会も行ってい
きます。常任委員会も活性化していきま
す。そして、それらを「きらり」を通じ
てお伝えしていきます。手に取って
いただける、読んでいただける(眺める、で
も)広報誌に成長させていきたいと思っ
ています。どうぞ「きらり」に関するご
意見やご感想もお寄せください。本年も
どうぞよろしくお願いします。
(平野)

議会広報委員

委員長	村崎 公一
副委員長	隈部 寛弘
副委員長	平野 保憲
委員	濱田 治義
委員	坂田 竜一
委員	吉住 淳
発行責任者	上田 孝